

令和6年度中国・四国地区国立大学法人等技術職員研修参加報告

共通機器部門情報基盤機器管理班

木村 一貴

1. はじめに（目的等）

中国・四国地区国立大学法人及び独立行政法人国立高等専門学校機構の技術職員相当の職員にある者に対して、その業務遂行に必要な基本的、一般的知識及び新たな専門知識、技術等を習得し職員としての資質向上を図るため本研修に参加した。

2. 期間・場所

開催地等： 島根大学 松江キャンパス（全体講義，専門分野実習（情報処理分野））
松江工業高等専門学校（専門分野実習（土木・建築分野，電気・電子分野））

3. 参加者等

中国・四国地区の国立大学法人及び国立高等専門学校機構の構成員 計28名

4. 研修内容

2024年8月21日（水）

全体講義Ⅰ（管理運営）

「国立大学の現状・将来課題と技術職員の役割」

島根大学 理事 増永 二之 氏

全体講義Ⅱ（土木建築分野）

「建設×デジタルによるインフラDXを牽引する次世代技術者教育」

松江工業高等専門学校 環境・建設工学科 教授 大屋 誠 氏

2024年8月22日（木）

分野別実習

情報処理 実習 「Microsoft Power Platformを用いた業務支援ツールの開発」

土木・建築 見学 「尾原ダム見学」

電気・電子 実習 「UAV写真測量・GNSS測量，UAVを用いた3次元地形測量」

「シリアルインターフェース付きセンサ使用時における接続方法の比較実験」

2024年8月23日（金）

全体講義Ⅲ（情報処理分野）

「データサイエンス概論」

島根大学 数理・データサイエンス教育研究センター 助教 瀬戸 和希 氏

全体講義Ⅳ（技術組織）

「技術職員組織と支援業務事例紹介」

島根大学 総合科学研究支援センター 技術専門職員 山根 冬彦 氏

松江工業高等専門学校 実践教育支援センター 技術長 川見 昌春 氏

5. まとめと感想

本研修会は完全対面式で開催され、一日目の全体講義を通じ、国立大学法人および国立高等専門学校機構の現状を知ることができた。また、島根大学の技術職員が技術部等の全学組織になっていないことも分かり、全学組織化している他大学の技術職員とも別途意見交換を実施できた。

二日目の分野別実習では、情報処理分野で参加し、Microsoft Power Automateの実践を行い、島根大学の講師および院生の学生に支援いただきながら、事務処理に用いる自動化ツールの作成に携わり、今後学内外で臨機応変に活用できる内容であると感じ、非常に勉強となった。

三日目の全体講義では、AIの特徴等を教わり、今後AIを活用する際の注意等を知ることができた。また、分野別研修と類似したMicrosoft Power Appsのワークフローについても理解できた。

島根大学の取組や課題、分野別講義での新たな知識を習得し、とても有意義な研修であった。